



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 6次産業推進事業	各産業従事者との情報交換の場を提供	交流会開催回数	回	4	4	4	4
②	1次産業社の6次産業化への知識向上の場を提供	勉強会開催回数	回	—	11	11	11
③	補助金を交付することにより6次製品の開発を支援する。	補助金交付件数	件	8	9	6	2
④	市場調査(テストマーケティング)の場を提供	販売会開催回数	回	—	4	28	20
⑤	販路開拓(商談)支援を行う。	商談会参加回数	回	—	5	28	20

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	37,100	17,525	99,010	94,000
			1,300	19,081	52,016	
2 6次産品開発数	市の補助金を活用して開発された6次産品数	品	3	10	33	60
			3	18	58	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	農林漁業者の所得向上及び地域活性化に支障をきたす恐れがある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	商品の開発数は、順調に伸びを見せているが、商品自体の磨き上げが不十分のために、販売金額が伸びなかった。試食販売会を通してマーケティングを行うことにより、商品自体の磨き上げにつなげる。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止    】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	6次産業補助金で生み出された商品等の一部は磨き上げが行われ、一般流通市場等に取り始めている。しかしながら、市内への周知は不十分であり、市内購買力の向上、新規事業参加者が少ない状況である。こうした状況を打開するために、玉名市内への周知活動を積極的に行い、試食販売会を通してマーケティングを行うことにより、商品自体の磨き上げにつなげ6次産業化の更なる活性化を目指す。
昨年からの見直し・改善状況【32】	食品衛生検査機関等と連携し検査を行い、事業者の改善活動を促した。また、6次産業推進勉強会等の場において、食品表示に関する講義、また研修を行い、事業者の食品安全管理の徹底を呼びかけた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	交流会・勉強会も進めながら、専門職員が持つ知識・人脈などを活かした販路(実績)拡大を引き続き行う。また、商品等に対する加工の相談、ブランド価値の向上を目指して、PRするとともに、玉名市全体の付加価値の向上も目指す。	評価責任者 村崎 信介
------------------	---	----------------